

# みんなで実践！ 生ごみ減量！



市民の皆さんのご協力によりごみの分別が進み、燃えるごみの量は年々減少してきましたが、減量のペースが落ちつつあります。さらにごみを減量するため、生ごみの減量にご協力をお願いします。

燃えるごみを減らすには、生ごみの減量が大切です

家庭から出るごみの3〜4割が、調理くずや食品ロスなどと言われる生ごみです。水分を多く含む生ごみは、においの発生源になるほか、ごみの燃焼効率や収集効率の低下の原因になります。生ごみはちよつとした工夫で大幅に減らすことができます。※まだ食べられるのに捨てられてしまう食品（食べ残しなど）のこと。

## 生ごみを減量すると...

- 家庭内や集積所での悪臭を抑えることにつながります
- ごみが軽くなり、集積所まで持ち運びやすくなります
- 水分が少なくなると焼却効率がよくなり、余分なエネルギーをかけずに焼却することで、施設の補修などの費用が削減できます

## 自分に合った方法で生ごみの減量にチャレンジ！

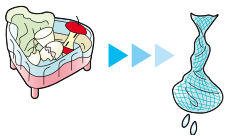
生ごみを減らす方法を紹介します。自分に合った方法で生ごみの減量をしてみませんか。

### ① 水切り

生ごみを水切り用のネットやビニール袋に入れて、水を切ります。

★ 水切りで生ごみを約8%減量できます。

★ 茶殻など水分の多い生ごみは、水切りすると20%以上減量できます。



### ② 乾燥

● 天日干し

野菜の皮などをネットに入れてつり下げると、カラスなどがいたずらしにくくなります。

● 冷蔵庫乾燥

果物の皮などを細かく刻み、タッパーのような容器に入れ、ふたをせずに冷蔵庫内に置いておきます。



### ③ 堆肥化

生ごみを堆肥にして利用します。減量できるうえ、肥料もつくることができ、一石二鳥です。

● 富士市オリジナルダンボールコンポスト「だっくす食ん太くんNEO」

生ごみを水と二酸化炭素に分解し、使用後の母材は肥料として使うことができます。

● EMぼかし

生ごみにEMぼかしをかけて発酵させ、堆肥にします。



▲だっくす食ん太くんNEO

## 生ごみの自家処理を応援します！

市では、家庭での生ごみ減量を推進するための制度を設けています。ご利用ください。

### ◆EMぼかし用密閉バケツの配布（無料）

EMぼかし用の密閉バケツを、廃棄物対策課（市役所10階）で配布しています。



▲EMぼかし用密閉バケツ

◆家庭用生ごみ処理機器購入費に対する補助金

対象の家庭用生ごみ処理機器に対し、購入金額の半額（上限1万円）を助成します。

対象／市内在住で、生ごみ処理機器を新たに購入し設置する人（1世帯につき1台限り）  
対象の処理機器（例）／



▲地上式・埋め込み式コンポスト



▲手動式生ごみ処理機



▲電気式生ごみ処理機

申請方法／購入前に次の書類を直接廃棄物対策課へ  
●補助金交付申請書（廃棄物対策課で配布、市ウェブサイトでダウンロード可）  
●見積書など金額がわかる書類  
●性能がわかるカタログなど

【市ウェブサイトで】くらしと市政↓くらし・手続↓ごみ・リサイクル↓リサイクル↓生ごみリサイクル↓家庭用生ごみ処理機器補助金制度

減らそう！食品ロス

ごみ減量の基本は、「ごみをつくらないこと」です。食品ロスを減らして、生ごみが出ないようにしましょう。日本の食品ロスは、年間約621万トン（平成26年度）と推計されていますが、これは全世界の食糧援助量の約2倍です。料理を食べ切る、余分な食品を買わないなど、食品ロス減量に取り組みましょう。

世界の食糧援助量  
年間  
約320万トン



日本の食品ロス  
年間  
約621万トン



日本人一人当たり、毎日おにぎり  
1～2個分の食べ物を捨てている量です！

食品ロスを出さないためには...

- 食べ残しをしない
- 余分な食品を買わない
- 調理をするときに、食べられる部分の廃棄を抑える（野菜の皮を厚くむき過ぎないなど）

「ふじのくに食べきりやったね！  
キャンペーン」で、楽しく生ごみ減量を！

静岡県では、「ふじのくに食べきりやったね！キャンペーン」と題して、食品ロスの減量に取り組んでいます。詳しくは、「ふじのくに食べきりやったね！キャンペーン」ウェブサイトをごらんください。  
📄 <https://machipo.jp/tabekiri>

◆食べきり割

キャンペーンに協力する飲食店（レストランや居酒屋など）の一部でキャンペーンサイトの「食べきり画面」をスタッフに提示し、料理を完食すると割引や特典を受けられます。  
とき／7月17日～平成30年1月31日

◆ごちそうさま！フォトコンテスト

キャンペーンに協力する飲食店の全店舗で、注文した料理を完食し、空になったお皿と一緒に写真を撮影してキャンペーンサイトに投稿すると、抽選でプレゼントが当たります。

とき／夏季 7月17日～8月31日

冬季 12月1日～平成30年1月31日

市内の店舗も協力しています。ぜひご参加ください。